



ファミリア通信 第2号

医療法人天公会 石狩ファミリアホスピタル



患者様の笑顔

ある日の午後、私の外来に2週間前まで入院していた認知症の患者様が受診しました。この患者様は、数ヶ月前から夜眠れず、トイレに頻回に立ち、食事もほとんど摂ることができないため、ご家族も大変疲れて当院を受診されました。3ヶ月ほどの入院で症状は改善し、通院ができる状態となり退院しました。

この日、私の顔を見るとすぐに「入院してすっかり良くなりました」と感謝を述べてくださいました。患者様の症状が改善し、退院後に外来で元気な笑顔を見せるのは、50年医師を仕事にしている私にとって大変喜ばしいことです。

その日の午後、認知症治療病棟へ行き作業療法のプログラムを見学するべく窓際に座りました。外を見ると空は青く、中庭は緑がきれいで、ナナカマドの実は少し色づいていました。患者様へ目を向けると、スタッフが身振り手振りや拍手で患者様に声援を送っています。すぐ前に大正生まれの患者様が座っており、私に気づくと振り向いてニコッと笑顔を見せてくださいました。この患者様には大正、昭和、平成、令和を生き抜いてきた逞しさを感じます。

このように患者様と向き合っていると、職員とともに一丸となり認知症患者様の治療に取り組む活力を得ることができるのです。



病院長 田野島 隆

スタッフ紹介

副院長 河合 剛多



今回は4月に着任された河合剛多医師をご紹介します。
広報委員がインタビューしました！

好きな食べ物は？

ジンギスカン、果物

ストレスの発散方法は？

車の運転、たき火

出身地とその良いところは？

札幌市、自然が豊かで程よく都会

医師になったきっかけは？

祖父との約束

ひとことお願いします

倶知安厚生病院、北大病院、当院の関連病院である大谷地病院などでの勤務を経て、本年4月から当院で勤務しています。当院を受診された患者さんやそのご家族に「石狩ファミリアホスピタルを受診して良かった」と思ってもらえるような診療を行っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

看護教育の取り組み

看護教育委員会委員長
外来看護師長
高島美香



本年度看護部では、専門職である看護師が個々に能力を開発、維持、向上していけるようにとの思いから「高い倫理観と自主性をもち、信頼される質の高いケアを提供できる人材を育成する」という理念を立てました。

看護教育のツールのひとつとして5月よりeラーニングを導入しています。eラーニングとは機器、通信ネットワークを利用して教育、学習、研修などの活動を行うことで、疾患や看護のことをパソコンの教材で視聴しています。たくさんのテーマがあり、毎月2~3テーマを視聴しています。それぞれの家でも視聴でき自己学習をどんどん進めているスタッフもいます。最後には講義のテストも実施しており皆真剣です。eラーニングで学習したことなどを実践に繋げてよりよい医療、看護を提供出来たらなと思っています。



使ったところが強くなる(作業療法)



今回は認知症治療病棟で行っている『ふまねっと』をご紹介します♪
『ふまねっと』とは50センチ四方のマス目でできた網を床に敷き、その網を踏まないように歩く運動です。網を踏まないように注意深く**またぎ越す運動**と左右の足とマス目を組み合わせて作ったステップの**学習**を同時に行うことでよい効果が得られます。

期待される効果

- ① 歩行機能の改善
体全体を使ってバランスをとりつつ慎重に歩くことで、体重移動調整機能が改善し、歩行機能が安定します。
- ② 認知機能の改善
複数の課題を行うことで脳の働きを活性化し、網の上を歩く緊張感で注意力・集中力が改善します。また、新しいステップを覚えて再現することで記憶力の改善も期待できます。
- ③ 自信とやる気の回復
確実にできるステップを続けて自信を取り戻すことで、参加意欲が高まり会話や笑顔が増えて表情が明るくなります。



作業療法では小さなことから焦らずコツコツと！楽しみながらできることを増やし、みなさまの生活を取り戻すお手伝いをしています。

※現在はコロナウィルス感染防止のため、ソーシャルディスタンスを十分保ちつつ実施しています。



訪問看護ではこんなことをしています

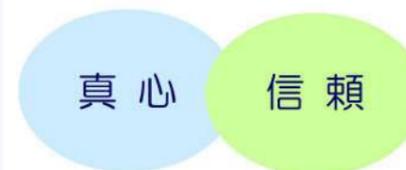
通院中の患者様を対象に、専門スタッフが地域で生活している方、またはご家族の日常生活の相談や支援、必要な資源の提案と調整を行っています。

訪問看護の内容

- ・病状についての相談、健康相談、健康管理
- ・服薬についての相談、管理方法の提案
- ・栄養管理、食事の工夫、調理の支援
- ・対人関係についての相談、対応の仕方の提案
- ・銀行や郵便局の利用方法、交通機関の利用法の相談、ご家族からの相談ごとに対する支援など



病院理念



一人でも多くの人を笑顔にする
(笑顔を取り戻してもらう)

安全と信頼

私たちは常に専門的知識と技術の向上に努め、地域に信頼され、安全で質の高い医療・介護・福祉を提供することを心がけます。

真心と誠意

私たちは一人ひとりの皆様との出会いを大切に、真心と誠意をもって皆様の健康な心身づくりに努めます。

病院基本方針

1. 私たちは地域に信頼され、必要とされる医療機関をめざします。
2. 私たちは患者様との出会いを大切にし、患者様の心身を真心をもって癒やします。
3. 私たちは専門職として、それぞれの分野で知識・技術を磨き、チーム医療の質の向上に努めます。
4. 私たちは患者様の自由・権利・人間性を尊重します。
5. 私たちは患者様が社会人として地域の中で生活を送れるように支援します。

患者様の権利

患者様は、適切な医療を受け、安心して療養に専念することができるように、次の権利を有しています。

1. 個人として、その人格を尊重される権利
2. 自分の受けている治療について知る権利
3. 状態に応じた適切な治療について知る権利
4. 自分の意見表明や自己決定できる援助を受ける権利
5. 公平で差別されない医療及び対応を受ける権利
6. 通信・面会の権利
7. 退院請求及び処遇改善を申し立てる権利
8. 開放的、明るい、清潔、落ち着ける環境で治療を受ける権利
9. 最小の制限のもとで治療を受ける権利

編集後記

朝晩涼しくなり、秋らしい気候となりました。秋といえば、読書、スポーツ、食欲など様々な秋の楽しみがございます。コロナやこれから冬に向け流行りだすインフルエンザ等の感染症対策もしっかり行い、秋を楽しんで下さい。

発行日:2020年10月

編集 :石狩ファミリアホスピタル広報委員会

発行 :医療法人天公会石狩ファミリアホスピタル

〒061-3207 石狩市花川南7条5丁目5番地

Tel (0133)73-5201 Fax(0133)73-8932

診療科目:精神科・心療内科

ホームページ:<http://tenkohkai.or.jp>